

平成25年度第8回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成25年12月9日（月）10時00分～11時00分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	岡本 哲夫
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県公立高等学校長会会長	中西 真也
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター事務長、野尻学術情報メディアセンター長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成26年度入学者選抜における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1、1-3に基づき、「試験は12月1日に実施し、推薦入試128名、農業・林業・水産科推薦入試5名、“くまもと夢実現”推薦入試2名、社会人入試2名、編入学等試験1名の志願者があり、全員が受験した。審議内容の詳細については、資料1-2、1-4に基づき、各学部長及び副学長から説明していただく。」との説明があった。

1) 推薦入試

山田文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、受験者8名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、受験者12名。小論文と面接を実施。上位7名までを合格としたい。」との説明があった。

堤環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員5名に対し、受験者9名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。居住環境学科は、募集人員4名に対し、受験者10名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対し、受験者16名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格としたい。」との説明があった。

松尾総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、受験者73名。小論文と面接を実施。上位50名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 農業・林業・水産科推薦入試

堤環境共生学部長から、「若干名の募集に対し、受験者5名。小論文と面接を実施。上位の1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) “くまもと夢実現” 推薦入試

半藤副学長から「募集人員2名以内に対し、2名が受験。小論文と面接を実施。得点が合格基準に達している上位の1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 社会人入試

山田文学部長から、「若干名の募集に対し、英語英米文学科に1名が受験。英語と面接を実施。得点が合格基準に達しておらず、不合格としたい。」との説明があった。

堤環境共生学部長から「若干名の募集に対し、食健康科学科に1名が受験。英語、化学生物、小論文、面接を実施。得点が合格基準に達している1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

5) 編入学等試験

堤環境共生学部長から、「若干名の募集に対し、環境資源学科に1名が受験。化学、生物、小論文、面接を実施。得点が合格基準に達しておらず、不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成26年度授業暦について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「基本的な考え方として、①前後期各15回授業日（試験を含まない）を設定、②一部祝休日（7月21日（月）海の日、11月3日（月）文化の日）における授業実施、③9月29日（月）後期授業開始、④補講日を各月1回設定（原則第4土曜日）、⑤試験期間を15回授業の後に設定。本日この案を承認いただければ、決裁のうえ12月中に学生及び教員に周知する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 次期副学長の選考について

古賀学長から、資料3に基づき、「現、半藤英明副学長の任期満了に伴う次期副学長について、熊本県立大学副学長選考規程に基づき選考したので、審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員の採用について

事務局総務課から、資料4-1に基づきこれまでの審査の経緯等について説明があった。

1) 英語教育

山田文学部長から、資料4-3に基づき、「英語教育採用人事について、公募に対して7名の応募があった。その全てについて文学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成26年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員から、資料4-2に基づき、「英語教育の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 教員の昇任人事について

事務局総務課から、資料5-1に基づき、「文学部長からの推薦に基づく、同学部の准教授の教授への昇任、講師の准教授への昇任、環境共生学部長からの推薦に基づく、同学部の准教授の教授への昇任、講師の准教授への昇任及び総合管理学部長からの推薦に基づく、同学部の講師の准教授への昇任について、審議いただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤副学長から、「3学部長から推薦があった5名について、昇任は適当であると全学資格審査委員会で判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「日本語日本文学科の地域文化研究Ⅱについては、同科目を担当していた教員の体調不良に伴い、緊急に非常勤講師を採用する必要がある、10月30日付けで採用を決定した。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第9回 1月20日(月) 午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会